

平塚らいてう生誕130年記念シンポジウム

NPO法人平塚らいてうの会15周年 らいてうの家10周年



ノーマ・フィールド

シカゴ大学名誉教授

日本を愛し現状を憂える
アメリカの日本研究者



青井 未帆

学習院大学教授

自由主義と立憲主義の破壊に
警鐘を鳴らす憲法学者



米田 佐代子

平塚らいてうの会会長

らいてうの平和思想の
原点を問う女性史研究者

らいてう生誕130年、らいてうの家オープン10年の現在、「戦争法」を廃止させ、平和憲法を守り、戦争や暴力で傷つけられた女性の尊厳を回復することができるとかーそれが問われています。らいてうのめざした「女性がつくる平和社会」を実現するために、わたしたち一人ひとりは何をすべきでしょうか。アメリカと日本の二つの国をみつめてきた日本文化研究者のノーマ・フィールドさんをシカゴからお迎えし、憲法学者と女性史研究者とともに語り合うつどいを企画しました。

ごいっしょに、それぞれの言葉で、わたしたちの現在(いま)を考えましょう。

それぞれの言葉で語る「平和」から
わたしたちの現在を考える



2016年
11月19日(土) 13:30開会

主婦会館プラザエフ
(JR四ツ谷駅前)

一般 2000円 学生 1000円

上田市真田町の高原に立つらいてうの家▶

平塚らいてう生誕130年記念シンポジウム

NPO法人平塚らいてうの会15周年 らいてうの家10周年

パネリスト



ノーマ・フィールドさん

1947年生まれ。アメリカ人の父と日本人の母をもち、「二つの国」をみつめつつ源氏物語から小林多喜二まで日本文化研究の優れた論考を発表。『天皇の逝く国で』『小林多喜二』など著作多数。昨年11月の「戦争法」廃止国会前集会で「憲法9条というかけがえのないもの」を「一度手離したら絶対取り返すことができないものだと思います」とスピーチ、時代と向き合う「言葉の力」「言葉の意味」を考えようと呼びかける。シカゴ大学名誉教授。



青井 未帆さん

1973年生まれ。憲法学者。立憲デモクラシーの会、国民安保法制懇メンバーとして積極的に発言。「安保法制で憲法が紙切れに」「外から見て日本は立憲主義国なのか」と警鐘を鳴らしつつ、「9条と24条を合わせ読む形でリアルに平和の問題を考えるべき」「権力を持たない女性は批判者に最も適しているとポジティブに捉えて希望を持とう」と訴える（2014年らいてう講座）。学習院大学教授。著書に『憲法を守るのは誰か』『国家安全保障法批判』など。



米田 佐代子(兼コーディネーター)

1934年生まれ。歴史科学協議会、総合女性史学会の代表委員を務め、山梨県立女子短期大学教授退任後NPO法人平塚らいてうの会会長としてらいてうの家建設にあたり、現在らいてうの家館長。生活者としての平和思想家・平塚らいてうの再発見、「女性がつくる平和世界」構想を問う。著書に『平塚らいてう評論集』（共編）『女たちが戦争に向き合うとき』など。



主婦会館 プラザエフ

会場案内

東京都千代田区六番町15

- JR[四ツ谷駅] 麹町口 (徒歩1分)
- 東京メトロ丸ノ内線[四ツ谷駅] 1番出口 (徒歩3分)
- 東京メトロ南北線[四ツ谷駅] 3番出口 (徒歩3分)

上野千鶴子、古田睦美、米田佐代子
サククス演奏・中川美保

記念シンポジウムの
ご案内
地域に根ざし
平和とくらしを
まもるために

8月28日(日) 午後1時
真田中央公民館

下記にご記入の上、なるべく事前にお申し込みください。

個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

氏名		TEL	-	-
連絡先	〒 -	FAX	-	-